

相川中学校 学校経営の基本方針

佐渡市立相川中学校長

1 〔教育目標〕 とともに支え とともに生きる ～仲間とともに 地域とともに～

- 学校の大きな役割は“生きていくための力を身に付けさせる”こと。
- 安全、安心、何よりも命が優先される。
- 互いに支え合いながら、自分、仲間、地域の夢や希望、能力や可能性を生かす。
- 地域の中での学校、地域あつての学校、地域とともに歩む学校。
- みんなでつくる、みんなの学校（多くの人の幸福の上に個人の幸福がある）。

2 〔重点目標〕 育てたい『4つの力と4つの心』～教育活動全体で展開～

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| ○自分で考える力 | ○思いやりの心 |
| ○自分で正しく判断し、行動する力 | ○感謝の心 |
| ○自分の考えを相手に分かりやすく伝える力 | ○認め合う心（Well-being から R6 年度より変更） |
| ○自分の限界に挑戦する力 | ○素直な心 |

実施計画等のねらいや目的
に、該当する項目を明記する。

3 目指す生徒像

- 人を応援することができる生徒、人から応援される生徒
- “今”を頑張る生徒(頑張るときはいつも今)
- どんなことにも一生懸命、本気で取り組む生徒(一生懸命はカッコイイ 一生懸命はおもしろい)

4 教職員の基本的な心構え

- 生徒は「認められ」「褒められて」成長する。
生徒をじっくりよく見て「認める」「褒める」そして「応援する」
- 生徒同士が互いに認め合う機会を意識的につくる。
- 職員朝会等での情報共有を適切に行い、生徒や保護者の支援・指導に役立てる。

5 今年度の重点事項

(1)自ら学びに向かう生徒の育成に向けて「対話」を重視した学習指導の工夫

- 『4つの力と4つの心』を意識した授業づくり
自分で考えさせる場面、判断させ実際に行動させる場面、表現させる場面、もっと上手に・もっと高度なことをやってみたいと思わせる場面、仲間の意見や存在を尊重する“あったかい雰囲気”。
- 「聴く」等の基本的なスキルを向上させ、「目的を持った対話」「深まりのある対話」に迫る。
- 相川中学校区で行動連携した児童生徒らの「問い」を大切にす授業づくりを継続する。
- 学習プランニングタイムを継続し、ミライシードの活用も含んだ家庭学習や宿題の在り方を見直す。
- 朝読書をきっかけに「会話力や文章力の向上」を図ることにより、学力を高めたり、円滑なコミュニケーション能力につなげたりする。

(2)「させる」から「ささえる」生徒指導の徹底

- 生徒は認められる・褒められるために学校へ。生徒なりに頑張ろうとしていることを見逃さない。
- 先導する時と伴走する時の見極めを意識して、生徒に働きかけ等をする。
- 生徒会活動の充実。生徒会と生徒指導は学校の両輪。
- 全ての基準は「生徒の将来」。教師のため、保護者のため、地域のためではない。
- 普段の授業をとおして、自己肯定感を育み、よりよい人間関係をつくる。

(3)道徳教育や人権教育、同和教育の推進

- 現実の困難な問題に主体的に対処することができる実効性のある力を育てる。
- 敬意や尊重の気持ちを育む教育を計画的に進め、差別と偏見のない思いやりのある生徒を育てる。
- 「特別の教科 道徳の時間」をとおして、いじめに対する考え方を身に付けさせる。
①いじめに“気付ける”クラスにする。 ②気付いた後に“正しく動ける”生徒を増やす。

(4)総合的な学習の時間の充実

- 『4つの力と4つの心』を育て、鍛え、実践する絶好の時間とする。
- カリキュラム・マネジメントの基になるよう意識する。

(5)生徒会活動の充実

- 「みんなでつくる、みんなの学校」には、生徒の自主的・主体的な学校づくりを意識する。
- 前例踏襲だけでなく、現状を踏まえた取組を促す。